



託北だより「あすなろ」No.75

「和」～敬・愛・信～

令和8年3月6日(金)
熊本市立託麻北小学校
文責：小倉 秀俊



HPコード

☀️「啓蟄～心と体をひらく～」

一雨ごとに春に近づいているようです。校舎の外壁工事も仕上げにかかっており、足場が外されて全貌が現れました。全体は白ですが、上部がグレーで落ち着いた外観を呈しています。初春の陽光が直接差し込み、校内が明るくなりました。

以下は3月5日の全校朝会で話した内容です。



みなさん、おはようございます。

さて、突然ですが、今日は何の日でしょう。

今日は、「啓蟄」という日です。難しい漢字ですね。どんな意味でしょうか。

ヒントはこの写真(テントウムシ)です。

雨があがった火曜日の昼に撮った写真です。何かかが写っていますね。そうです「テントウムシ」です。よく見ないとわからないですね。

実はこの漢字の中にも何かか隠れています。そうです虫です。

「啓」は「ひらく」という意味があります。「蟄」は「土の中に隠れている虫」という意味です。つまり、「啓蟄」は、「春の暖かい光に誘われて、冬眠していた虫たち(動物)が土の穴を開けて、外に飛び出してくる時期」ということです。テントウムシやカエルたちが、「おーい、春が来たぞ!起きて外に出よう!」と動き出す、そんな季節なのですね。

みなさんも、虫たちのように、新しい学年への準備を始める季節です。冬の間、寒くて縮こ



まっていた体。ちょっとお休みしていた「やる気」スイッチ。これから、心も体もしっかり開いて元気に活動してみませんか。

明日は、お別れ遠足です。雨が心配ですが、運動公園に行くことができれば、冬から目覚めた虫たちを探してみてください。

もう一つお話があります。今週の月曜日、正門でゴミを拾っていたら、ある男の子が、「道にゴミが落ちていました。」と言って、戻って拾ってきてくれました。誰かの姿を見て、自分もやってみようとして行動するところは素晴らしいと思いました。きっとこの人は「気づく心」が開いているのだと思いました。

これで、お話を終わります。しっかり聞いてくれてありがとうございました。

☀️「いじめ防止等対策委員会」

3月3日(火)に、本年度第2回の「いじめ防止等対策委員会」開催しました。今回は、学校評議員代表、PTA 代表、スクールカウンセラー、東警察署のスクールサポーターにご出席いただき、ご意見をいただきました。

初めに、生徒指導担当から、本年度の本校の状況として、アンケートや毎週の情報交換で出された内容について報告しました。

その後の意見交換では、子どもが相談しやすい環境づくりが大切であること。また、保護者からも情報を得やすい体制づくりが必要であることなどが出されました。

その他、インターネットやSNSに関する問題についてのご意見もありました。今年1月に話題となった熊本で発生した SNS 上への暴力動画の投稿など、全国的に社会問題化しています。子どもたちの身を守るためにも、スマホをはじめとした端末の使用については、関係機関との連携した対応が必要かと思えます。



コーヒーブレイク



2月26日(木)の午後、トイレの水が流れませんという子どもからの訴えがありました。確認したところ、特定のトイレだけでなく、外トイレを除いたすべてのトイレで排水ができない状態になっていました。丁度、洋式化工事の担当者がいらしたので、調べてもらったら、学校の全ての下水が集まる排水管が、何らかの原因で詰まっているということでした。そこで、夜になっていましたが、専門の業者に来てもらい、暗い中、電灯を頼りに詰まりを取る作業をしてもらいました。しかし、思った以上に硬く、手持ちの道具では貫通できませんでした。それでも努力の甲斐あって、溜まった水は流れてしまいました。次の日は、念のため学年ごとの時間差使用のプランも立てつつ、祈る思いで高圧洗浄車が到着した昼までしのぎました。私たちの生活を守るために、雨の中、懸命になって作業をされる業者の姿に感謝しながら、世の中には、いろいろな仕事があり、どれも必要不可欠で有難いと改めて痛感させられました。

